

先月号で紹介した三沢厚彦さんの作品とともに新たに設置されたのが、西野康造さんの《Harmony with the Breeze 2020》と《Swing in the Air 2020》です。西野さんはニューヨークのワールドトレードセンター(4WTC)のエントランスロビーに巨大な作品《SKY MEMORY》が設置されたことで世界中に知られるようになりました。

石神の丘美術館〈花とアートの森〉に設置されたのは、どちらも巨大な鳥の骨格標本を連想させる形状で、前者は四本脚の上で、後者は一本脚の上で、優雅に羽ばたいています。風のない

日でも羽ばたいているので、来館者のみなさんから「モーターで動いているのでしょうか」と質問を受けますが、どちらも自然の風の力で動いています。これは軽くて丈夫なチタン合金を用いていることと西野さんならではの緻密な計算と技術の結晶といえます。

とてもダイナミックな作品であると同時に、とても繊細な作品でもあります。見ていて飽きることがなく、時間が経つのを忘れさせます。ある意味で、哲学的な作品だとも言えそうです。

石神の丘からのお知らせ

道の駅 石神の丘 9:00-18:00
TEL 0195-61-1600



年末年始も道の駅をご利用ください

道の駅/レストラン「石神の丘」は、年内12月30日(水)18時まで、年明けは1月2日(土)9時(レストランは10時30分)より営業いたします。

※恒例の年明けおふるまいは中止とさせていただきます。

レストラン石神の丘 10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602



新テイクアウトメニュー

チキンバスケット
4人前/2,160円(税込)

[内容] 若鶏竜田揚げジャポネーズ・ソルト各4個/骨なしフライドチキン4個/手羽先スパイスソースト4個/フライドポテト

※2日前までのご注文をお願いいたします。

Ishibi



Ishigami Museum of Art

石神の丘美術館通信 イシビ
2021.1 Vol.207



三沢 厚彦 《Animal 2017-03B2 (シロクマ)》

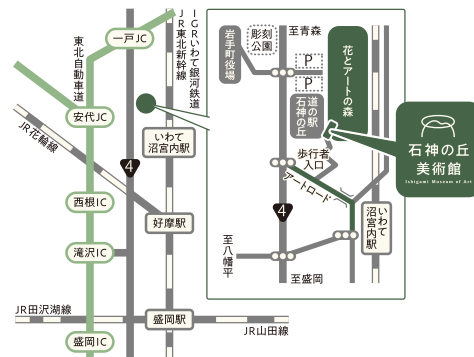


石神の丘
美術館

Ishigami Museum of Art

〒028-4307
岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477

U R L <http://museum.ishigami-iwate.jp>
Twitter https://twitter.com/ishigami_muse
Instagram http://instagram.com/ishigami_muse/



新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のため、ご来館の際はマスクの着用、検温、手指消毒、入館者記録への記入をお願いしています。

新幹線はやぶさが行き交ういわて沼宮内駅、その向こうにたおやかな稜線を見せる姫神山。夕方の淡い光を浴びながら、じっと景色を眺めているような《Animal 2017-03B2 (シロクマ)》。彫刻家・三沢厚彦が制作したこの作品は、屋外エリア〈花とアートの森〉の〈空の広場〉に設置されています。

哀愁漂いつつも、どこか愛らしい背中が人気の《シロクマ》は、一体どんな表情をしているのでしょうか。先月号に引き続き、〈花とアートの森〉に新しく仲間入りした作品の中から、三沢厚彦が手がけた彫刻作品についてご紹介します。

企画ギャラリー

令和2年度 石神の丘美術館

岩手町小中学校・高校 絵画コンクール作品展

会 期：2021年1月5日(火)～24日(日)
9:00～17:00(最終入場16:30)

休 館 日：1月12日(火)、18日(月)

観覧料金：無 料 ※〈花とアートの森〉をご覧いただく場合は別途観覧料が必要です。

岩手町内の小中学校・高校を対象に開催している、恒例の「絵画コンクール」。
今年度は、《世界にひとつすてきな岩手町》という募集テーマのもと、283点の応募がありました。
この作品展では応募作品すべてを展示します。



1



2



3



4

- 1 小学校低学年の部 最優秀賞
《ゆはずとしょかん》沼宮内小学校2年 近藤 美華
- 2 小学校高学年の部 最優秀賞
《世界に一つしかないきれいなラベンダー畑》川口小学校4年 大澤 夏妃
- 3 中学校の部 最優秀賞
《ミミズは頂上から》沼宮内中学校3年 岩崎 朱花
- 4 高等学校の部 最優秀賞
《異世界 空想》沼宮内高等学校3年 和田 優衣奈

ホールの小さな展覧会

トルクメニスタンの子どもたちの絵

会 期：2021年1月5日(火)～24日(日)
9:00～17:00(最終入場16:30)

休 館 日：1月12日(火)、18日(月)

観覧料金：無 料 ※〈花とアートの森〉をご覧いただく場合は別途観覧料が必要です。

「絵画コンクール」開催期間中、ホールでは、日本ユーラシア協会岩手県連合会の協力で、トルクメニスタンの児童が描いた絵をご紹介します。



花とアートの森 × 三沢 厚彦

part
2

リニューアルした屋外エリア〈花とアートの森〉には、彫刻家・三沢厚彦の「ANIMALS(アニマルズ)」シリーズより5体の動物彫刻が仲間入りしました。

愛らしい後ろ姿で、今月号の表紙を飾った《Animal 2017-03B2(シロクマ)》。その顔は、眼光するどいようにも、ぼんやりしているようにも、角度によっては優しく微笑んでいるようにも見える不思議な表情をしています。

さらに〈空の広場〉を進んで行くと、石組みの頂に立ち、遠く先にそびえ立つ岩手山を見つめている作品《Animal 2018-03B(カモシカ)》と出会います。神獣のような存在感がある彫刻は、ひそかに〈イシガミさま〉と呼ばれているとかいないとか。

〈花とアートの森〉に新しく設置された動物彫刻は、季節や時間帯、天候によって見え方が異なるところも魅力のひとつ。ぜひ、お気に入りのアニマルを見つけてみてください。



上 《Animal 2018-03B(カモシカ)》
2020年 ブロンズ、ウレタン塗装
下 《Animal 2017-03B2(シロクマ)》
2020年 ブロンズ、ウレタン塗装

三沢 厚彦 Atsuhiko Misawa

1961年京都府生まれ、神奈川県在住。
日本を代表する現代木彫家のひとり。
2000年から動物をモチーフにした木彫シリーズ「ANIMALS(アニマルズ)」を発表。樟(くすのき)を用い、ほぼ等身大に彫り彩色した木彫は、野生のものとも異なる独特の存在感を放つ。